



# 大阪市空堀地区における 緑の出現状況に関する研究

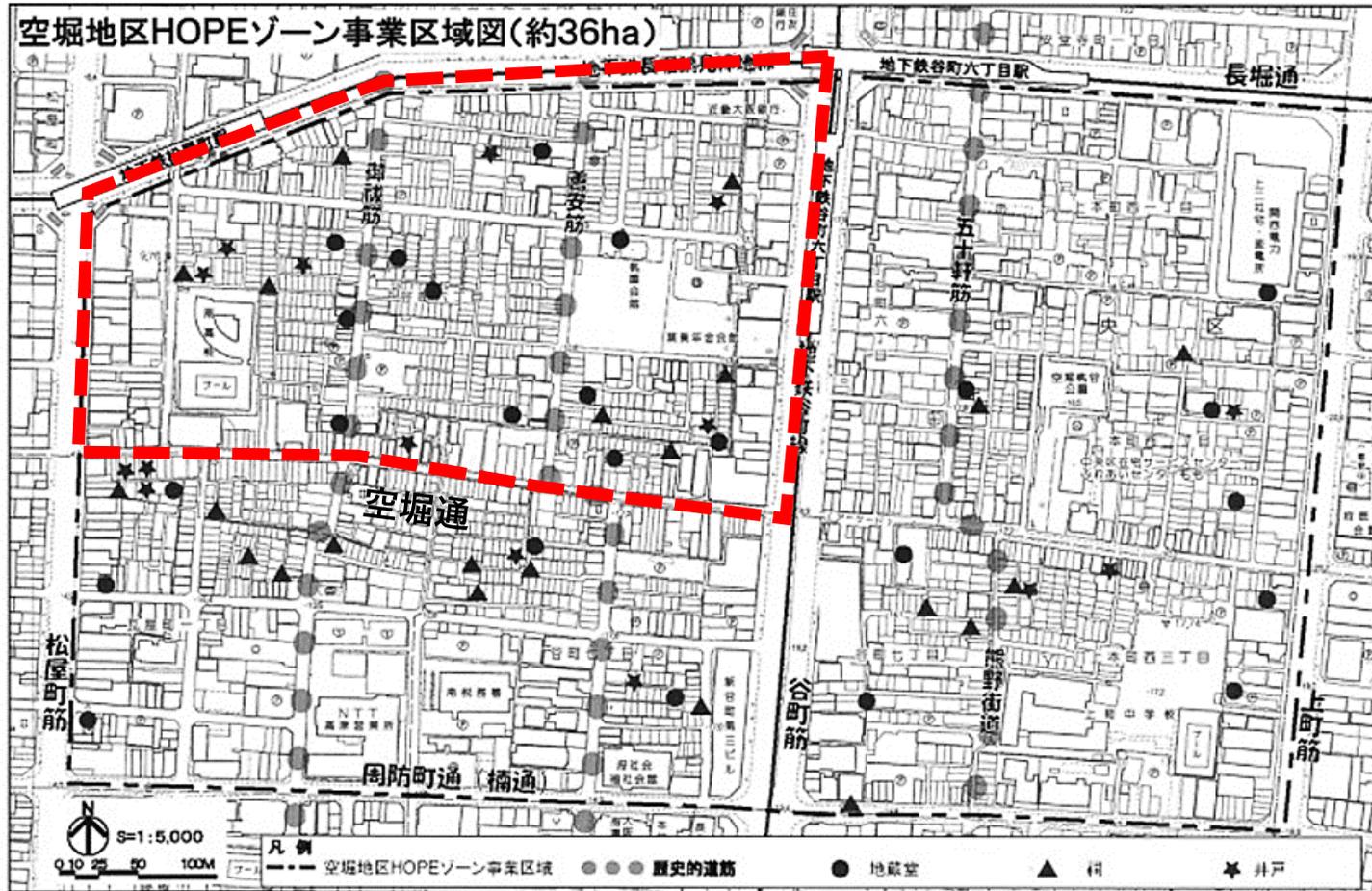
緑地計画学 川端琴美



# 背景と目的

---

- 木造の建物が多く、狭隘な道路で構成されている密集市街地では、オープンスペースが少なく防災上の課題がある一方、生活者の暮らしの様子がまちの景観に反映された文化的な雰囲気を保っている。
  - 生活者による緑化は、それぞれの住戸に豊かな表情を与えるだけでなく、まちの文化や歴史を背景に育まれてきた緑として、独自の住空間を形成している。
- 大阪市が地域特性を活かしたまちづくり事業を進めている空堀地区において生活者による緑の出現状況を探る

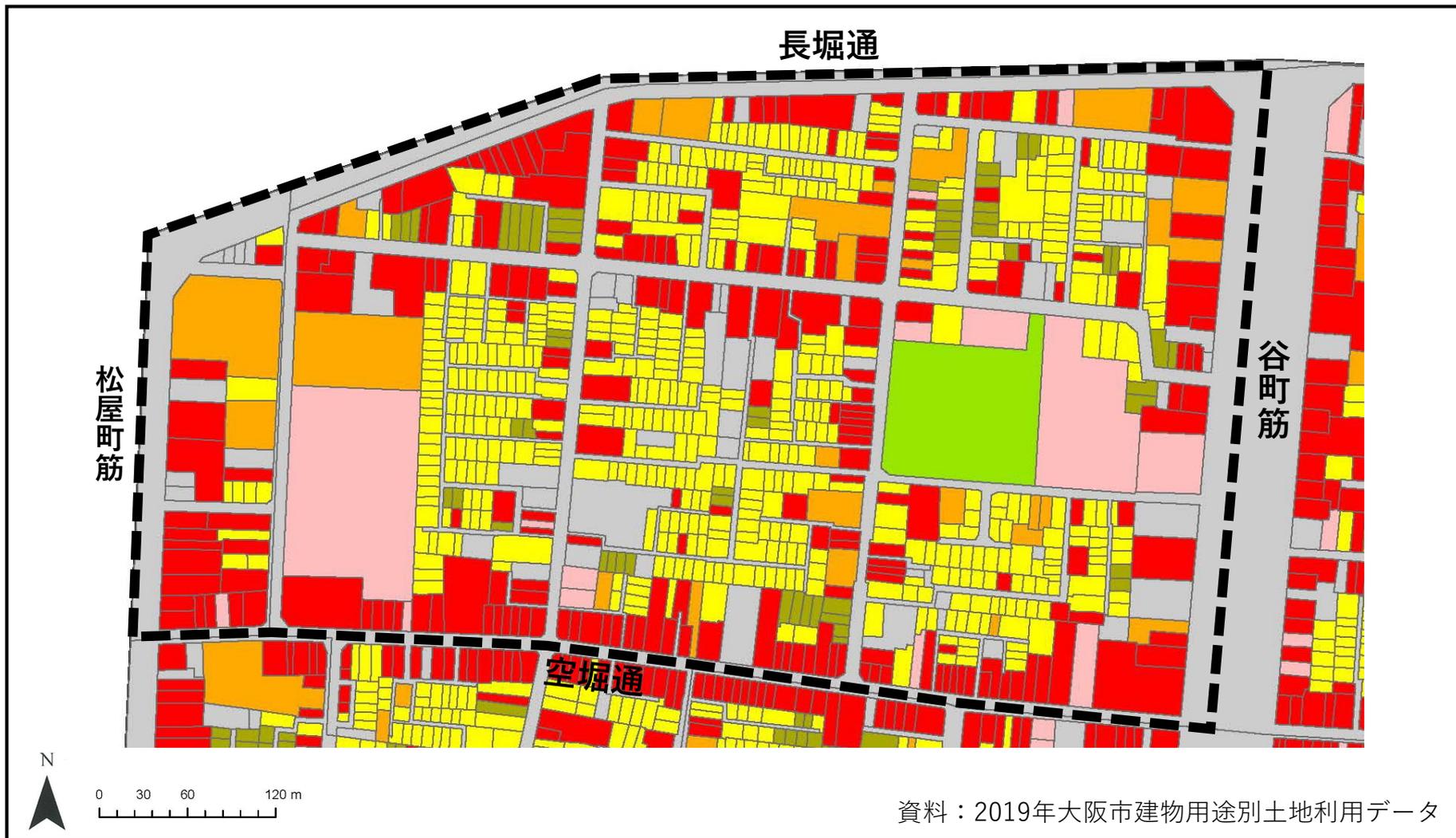


(出典)大阪市, 空堀地区HOPEゾーン協議会: 「HOPEゾーン事業空堀地区まちなみガイドライン」

### HOPEゾーン事業:

歴史的・文化的な雰囲気やまちなみなどに恵まれた地域を、大阪市の居住地イメージを高めるモデルゾーン (HOPEゾーン) として位置付け、市民と連携・協働して、様々なまちづくり活動を展開しながら、それぞれのまちの特性を活かしたまちなみづくりを進め、魅力ある居住地づくりをめざす事業

## 第2章 空堀地区の現況 ～土地利用現況～



凡例

商業・業務

一戸建住宅

長屋建住宅

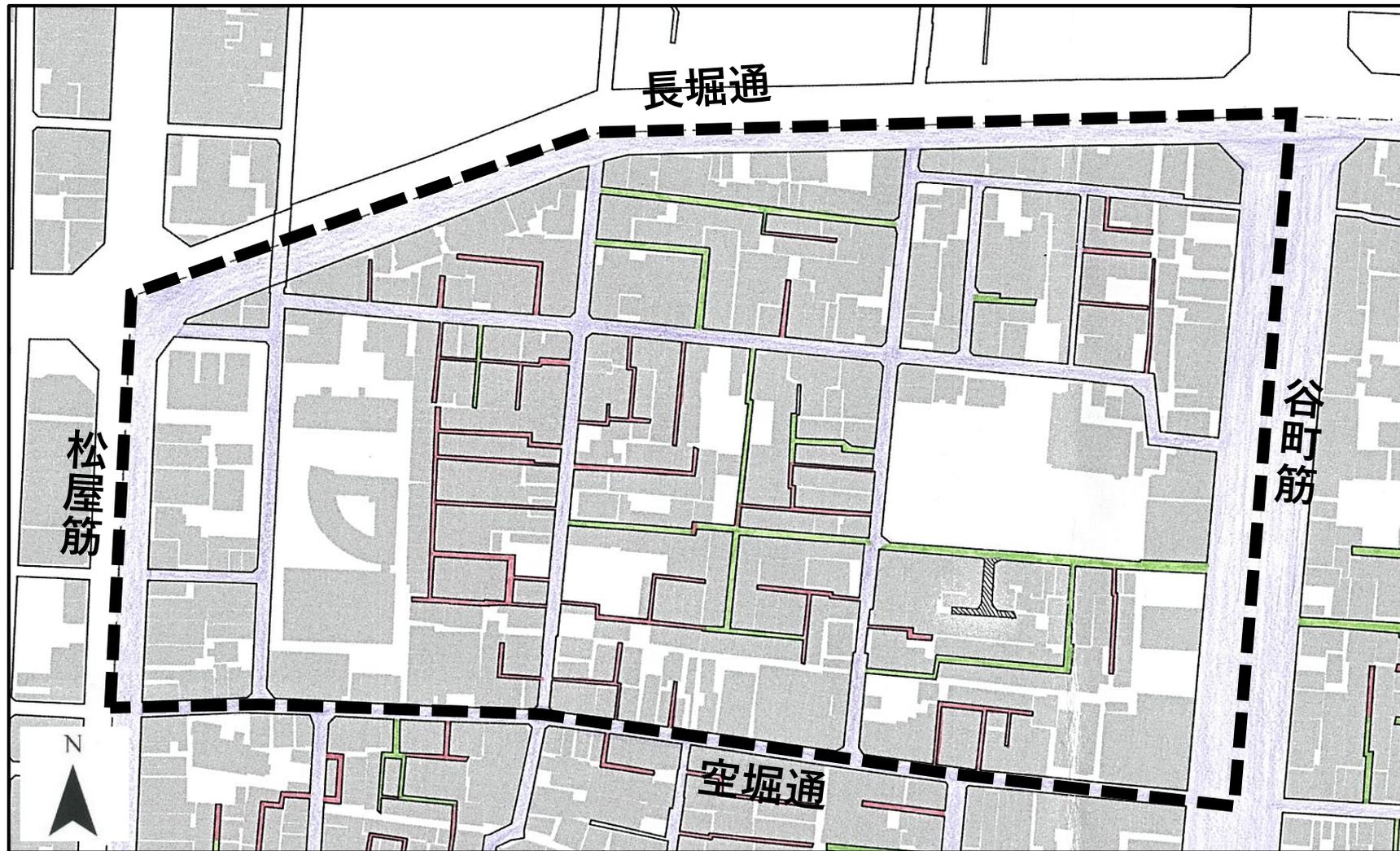
共同住宅

文教・福祉

自然

その他

# 第2章 空堀地区の現況 ～路線認定状況～



- |        |   |                 |      |   |              |
|--------|---|-----------------|------|---|--------------|
| 凡例「街路」 |  | 建築基準法第42条第1項第1号 | 「路地」 |  | 建築基準法第42条第2項 |
|        |  | 建築基準法第42条第1項第5号 | 「通路」 |  | 建築基準法に該当しない  |

資料：大阪市指定道路図データ

# 第3章 緑の出現状況：研究方法 ～調査項目について～

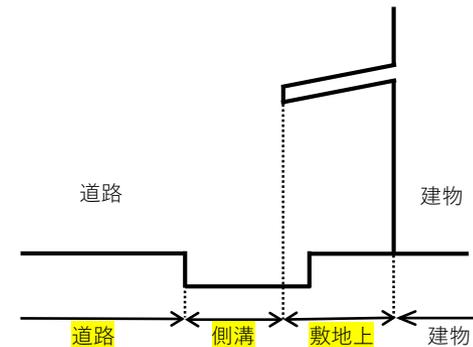
- ・ 現地調査：2023年10月21・22日
- ・ 調査方法：敷地及び敷地周辺の状況が把握できる位置から写真撮影
- ・ 調査項目：緑の出現状況  
緑の配置状況  
建物用途種別  
前面道路種別



# 第3章 緑の出現状況：研究方法 ～調査項目について～

## 【調査方法】

- 緑の出現状況\_\_植え方 (鉢植え/地植え)
  - \_\_種類 (中高木/低木/草本/ツタ類)
  - \_\_形態 (単数/整列/集合/分散/離散)
- 緑の配置状況\_\_位置 (正面/側面/対面/背面)
  - \_\_場所 (敷地上/側溝/道路)
  - \_\_段差の有無 (有/無)

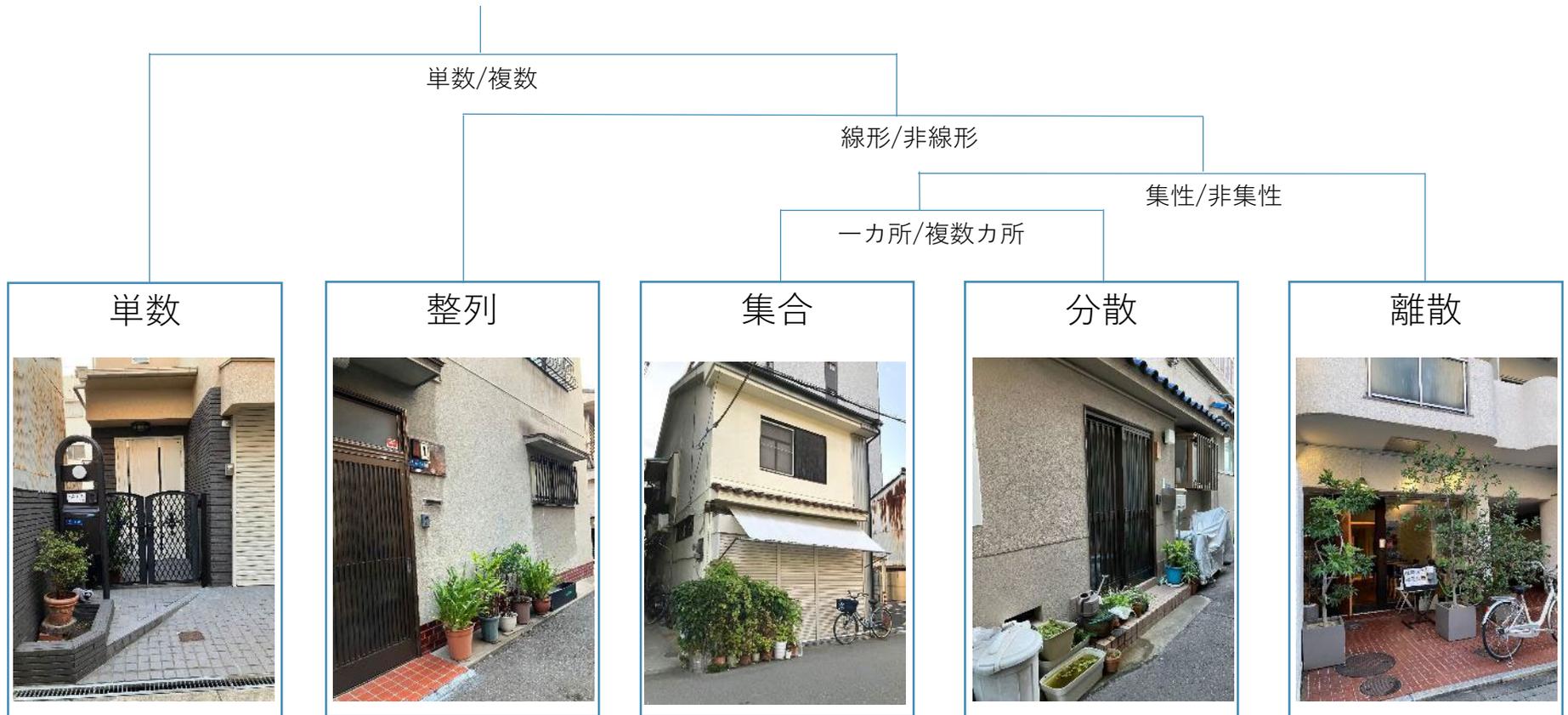


- 建物用途種別 (一戸建住宅/長屋建住宅/共同住宅/商業・業務/文教・福祉)
- 前面道路種別 (街路/路地/通路)

## 【解析方法】

- 調査項目を敷地単位で単純集計
- 緑の出現状況と建物用途種別・前面道路種別との関係性から緑の出現状況を考察

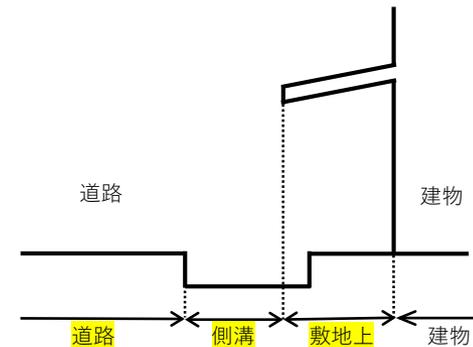
# 第3章 緑の出現状況：研究方法 ～「形態」について～



# 第3章 緑の出現状況：研究方法 ～調査項目について～

## 【調査方法】

- 緑の出現状況\_\_植え方 (鉢植え/地植え)
  - \_\_種類 (中高木/低木/草本/ツタ類)
  - \_\_形態 (単数/整列/集合/分散/離散)
- 緑の配置状況\_\_位置 (正面/側面/対面/背面)
  - \_\_場所 (敷地上/側溝/道路)
  - \_\_段差の有無 (有/無)
- 建物用途種別 (一戸建住宅/長屋建住宅/共同住宅/商業・業務/文教・福祉)
- 前面道路種別 (街路/路地/通路)



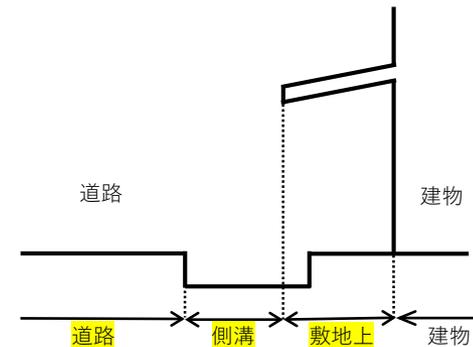
## 【解析方法】

- 調査項目を敷地単位で単純集計
- 緑の出現状況と建物用途種別・前面道路種別との関係性から緑の出現状況を考察

# 第3章 緑の出現状況：研究方法 ～調査項目について～

## 【調査方法】

- 緑の出現状況\_\_植え方 (鉢植え/地植え)
  - \_\_種類 (中高木/低木/草本/ツタ類)
  - \_\_形態 (単数/整列/集合/分散/離散)
- 緑の配置状況\_\_位置 (正面/側面/対面/背面)
  - \_\_場所 (敷地上/側溝/道路)
  - \_\_段差の有無 (有/無)



- 建物用途種別 (一戸建住宅/長屋建住宅/共同住宅/商業・業務/文教・福祉)
- 前面道路種別 (街路/路地/通路)

## 【解析方法】

- 調査項目を敷地単位で単純集計
- 緑の出現状況と建物用途種別・前面道路種別との関係性から緑の出現状況を考察

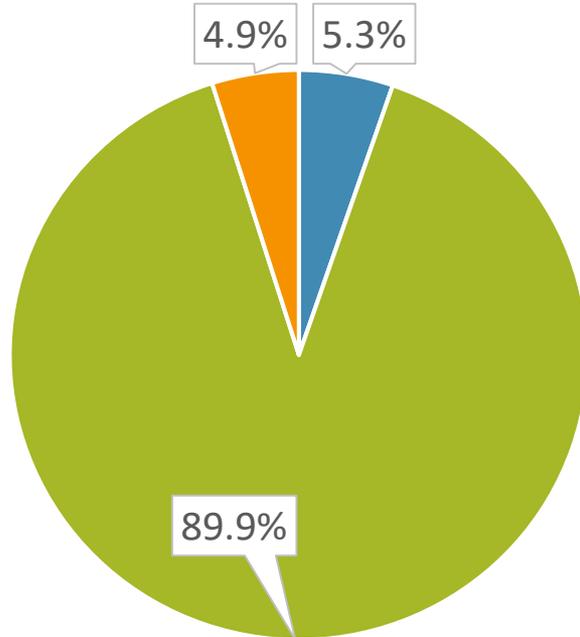
# 第3章 緑の出現状況：結果 ～『緑の出現箇所』について～



緑の出現箇所数：247箇所

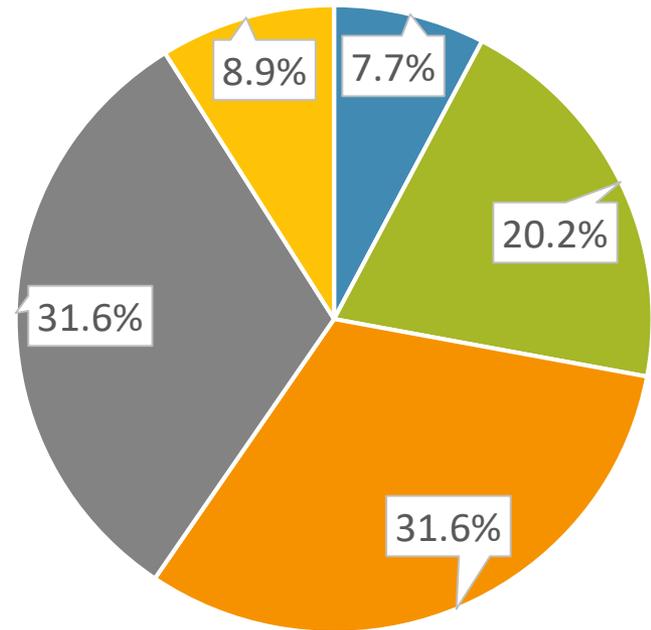
# 第3章 緑の出現状況：結果 ~『緑の出現状況』について~

## 緑の植え方



- 地植えのみ
- 鉢植えのみ
- 地植え + 鉢植え

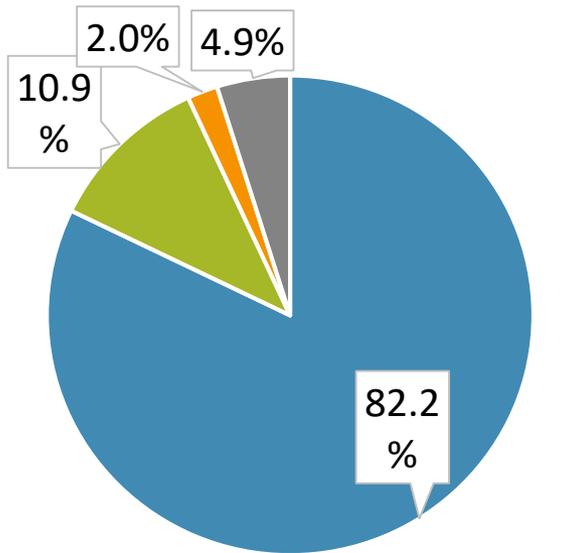
## 緑の出現形態



- 単数
- 整列
- 集合
- 分散
- 離散

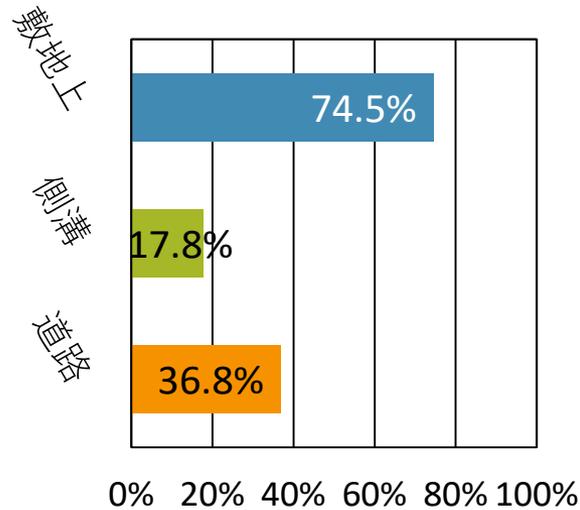
# 第3章 緑の出現状況：結果 ～『緑の配置状況』について～

## 緑の配置位置

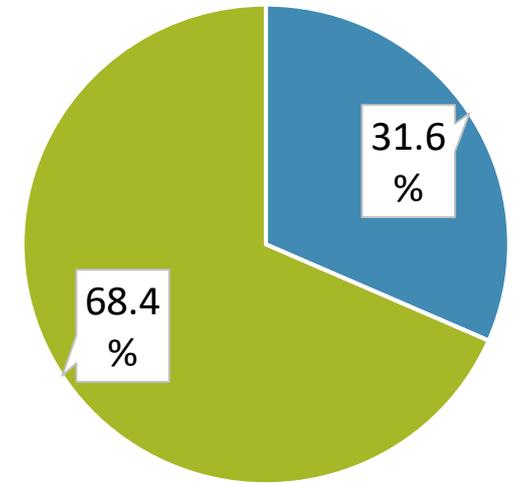


■ 正面 ■ 側面 ■ 背面 ■ 対面

## 緑の配置場所



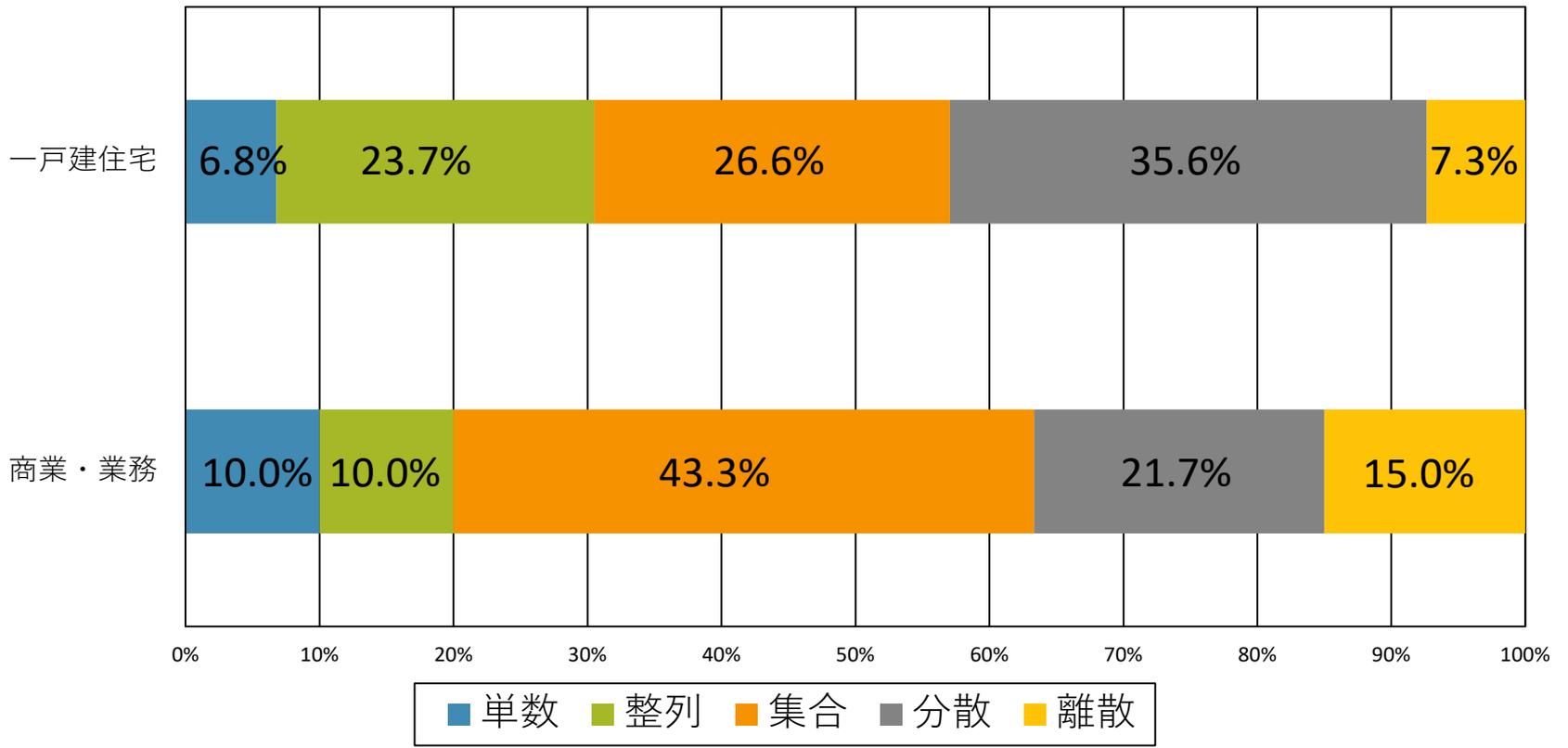
## 段差の有無



■ 段差あり ■ 段差なし

# 第3章 緑の出現状況：結果 ～『緑の出現状況と建物用途、前面道路との関係』～

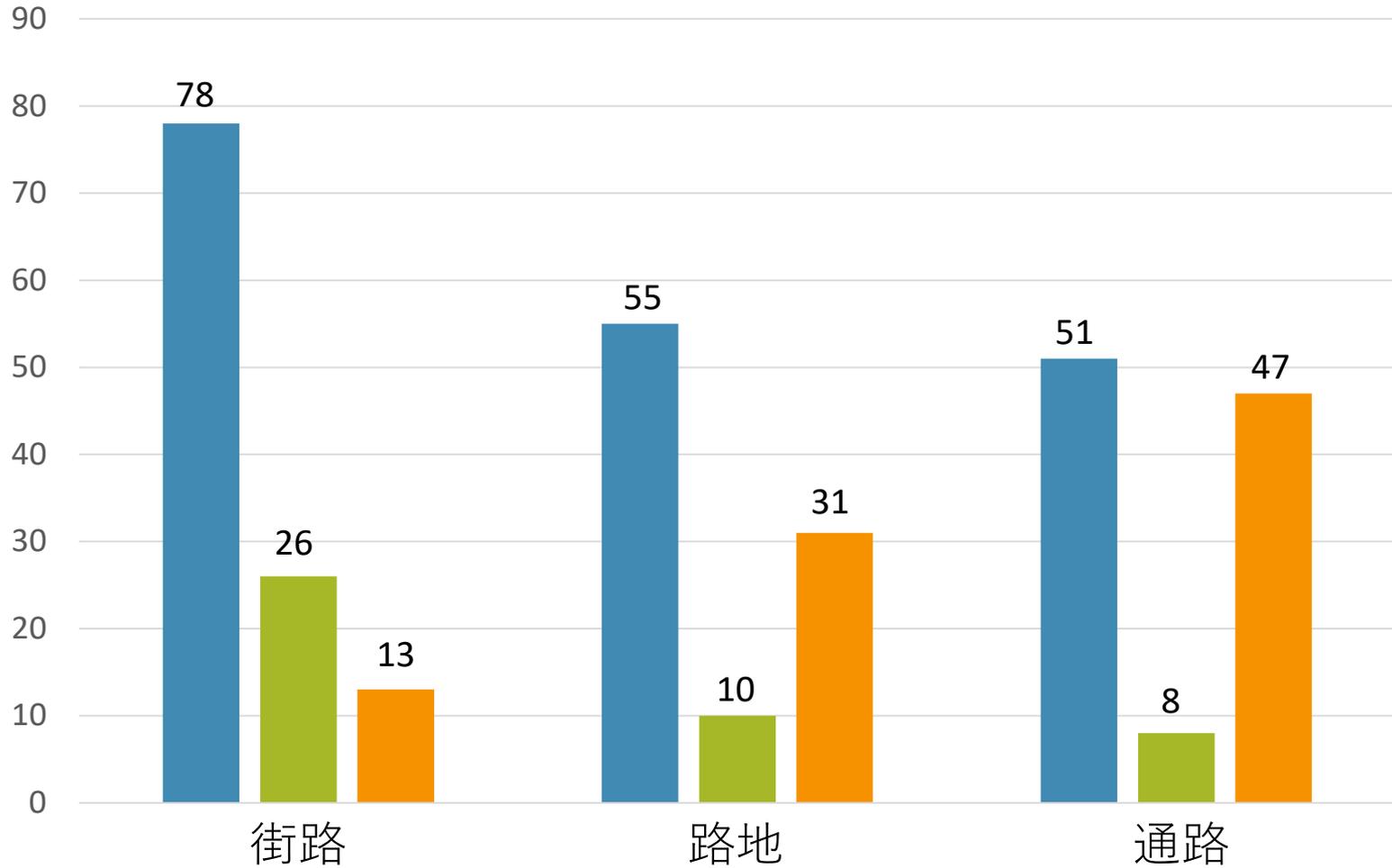
## 建物用途種別と緑の出現形態



# 第3章 緑の出現状況：結果

～『緑の出現状況と建物用途、前面道路との関係』～

(箇所)



■ 敷地上 ■ 側溝 ■ 道路

# まとめ

---

- 緑の植え方については「鉢植えのみ」が多く、緑の出現形態については、複数の緑をまとめて一カ所に置く「集合」と複数カ所に置く「分散」が多くみられた。
- 緑の配置位置については「正面」が多く、緑の配置場所は「敷地上」が多い。
- 「一戸建住宅」では「分散」が、「商業・業務」では「集合」が多く確認でき、建物用途によって緑の出現形態に違いがみられた。
- 前面道路の規模が大きくなると「敷地上」に、小さくなると「道路」に緑が配置される傾向がみられた。
- 大阪市空堀地区における緑は実に多様な様相を呈しており、住空間に人々の手が加えられることで生き生きした環境となっている。